

(2) その他の評価

オレンジゆずるバスの満足度

項目	満足度	評価
運行全体	64.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・運行全体では6割以上の市民が普通、やや満足、満足となっている。 ・今後の対応としては、ルートと便数についての見直しが重要であると考えられる。
運賃	63.5%	
ルート	51.6%	
便数	48.4%	
情報提供	74.9%	

市民アンケート結果より

オレンジゆずるバスの必要性

項目	割合	評価
必要	57.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスの必要性について、市民全体が高い認識を持っていると考えられる。
必要ではない	8.0%	
どちらともいえない・わからない	34.4%	

市民アンケート結果より

市民の生活の変化

項目	割合	評価
積極的に外出するようになった	21.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者のおよそ2～3割が外出機会の増加と買物や公共施設利用の利便性が高まり、生活の質が向上したといえる。 ・利用者の消費活動が、新たに教養や娯楽、買い物に出るようになった利用者の消費活動の増加だと考えれば、オレンジゆずるバスによる市内の経済効果として評価できる。
市内の商店に買い物に行きやすくなった	29.8%	
市内の公共施設に行きやすくなった	23.5%	
自家用車を運転する回数が減った	10.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者のおよそ2割が自家用車からオレンジゆずるバスへの転換が図れたといえる。 ・自家用車からオレンジゆずるバスへの転換することで、CO₂排出量の削減効果として評価できる。
自家用車で送迎してもらう回数が減った	11.5%	

バス利用者アンケート結果より